

## 令和3年度上半期の執行状況

令和3年度上半期（9月30日現在）の歳入歳出予算の執行状況をお知らせします。

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	147億 45万円	70億 921万円	47.7%	55億5,486万円	37.8%
国民健康保険	35億2,500万円	16億5,875万円	47.1%	14億1,871万円	40.2%
後期高齢者医療	3億6,270万円	1億7,062万円	47.0%	1億2,703万円	35.0%
介護保険	28億9,100万円	15億6,739万円	54.2%	11億7,730万円	40.7%
下水道事業	4億 350万円	1億9,427万円	48.1%	1億2,776万円	31.7%
観光事業	2,640万円	1,259万円	47.7%	863万円	32.7%
宅地造成事業	4,910万円	24万円	0.5%	7万円	0.1%
計	219億5,815万円	106億1,307万円	48.3%	84億1,436万円	38.3%

下水道事業会計		予算額	執行額	執行率
収益的 (事業収益を目的とする収支)	収入	7億3,500万円	3億3,337万円	45.4%
	支出	7億2,199万円	2億4,221万円	33.5%
資本的 (施設整備を目的とした収支)	収入	1億2,507万円	0円	0.0%
	支出	5億6,468万円	2億9,020万円	51.4%

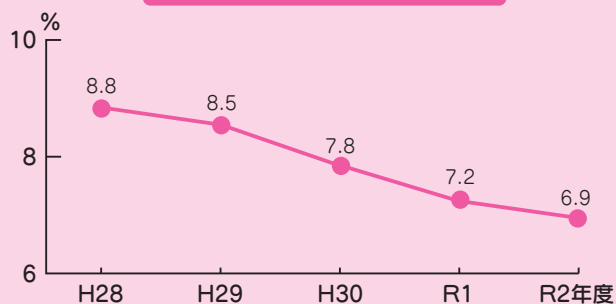


## 財政健全化比率等の公表

令和2年度決算による財政健全化比率等は、いずれの指標も基準を下回っており健全な状況です。

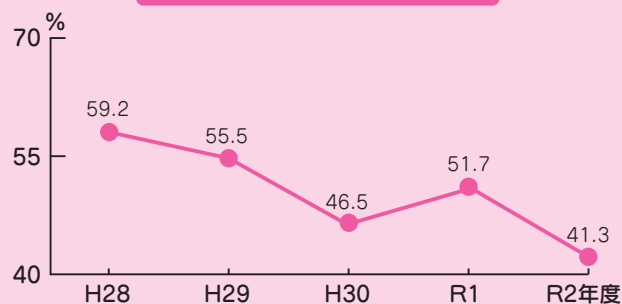
指標	説明	町の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額の標準財政規模に対する比率（黒字のため該当なし）	—	13.8%
連結実質赤字比率	すべての会計を対象にした実質赤字額（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率（黒字のため該当なし）	—	18.8%
実質公債費比率	一般会計などが負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率（過去3力年の平均）	6.9%	25.0%
将来負担比率	一般会計などが将来的に支出することが見込まれる額から、充当可能財源を控除した額の標準財政規模に対する比率	41.3%	350.0%
資金不足比率	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率（資金不足を生じた公営企業がないため該当なし）	—	20.0%

### 実質公債費比率



広域クリーンセンター大田原分の返済金の減などにより、0.3ポイント改善し6.9%となりました。

### 将来負担比率



下水道事業会計の黒字化などにより、10.4ポイント改善し41.3%となりました。